

各技術分野の進捗状況とりまとめ

平成 26 年度の各実証技術分野の進捗状況を下表に示す。

表 平成 26 年度各実証技術分野の進捗状況(1)

分野 項目	地球温暖化対策技術分野 (照明用エネルギー低減技術)	ヒートアイランド対策技術分野 (建築物外皮による空調負荷 低減等技術)	ヒートアイランド対策技術分野 (地中熱・下水等を利用した ヒートポンプ空調システム)	VOC 等簡易測定技術分野
平成 26 年 度の実証予 定	件数:2 件 概要: 平成 26 年 9 月 8 日(月)から 10 月 31 日(金)まで実証対象技術の公 募を実施。 昼光導入装置 2 件を採択。 12 月から 2 月にかけて実証試験 を実施。終了後実証試験報告書 を作成する。	件数:16 概要: 10 月から 2 月にかけて実証試験 を実施。終了後実証試験報告書 を作成する。	件数:3件 概要:7月に実証単位(A)「システ ム全体」を 2 件、実証単位(B)「地 中熱・下水等専用ヒートポンプ」 を 1 件選定し、現在実証試験実 施中。	件数:1 件 概要:ガスクロマトグラフィー半導 体センサによるVOC測定器。7 月 ～9 月に公募を実施。10 月に実 証対象技術の選定を行い、12 月 に実証試験を実施。
技術実証検 討会等の開 催状況	○技術実証検討会 第1回 2014.7.17 第2回 2014.11.18 第3回 2015.3 月(予定) ○技術実証検討会 分科会 第1回 2014.10.16 第2回 2014.11.19 第3回 2015.1.8 第4回 2015.2.26(予定)	○技術実証検討会 第1回 2014.6.25 第2回 2014.9.3 第3回 2015.3.10(予定) ○既往技術分科会 第1回 2014.10.21 第2回 2015.2.25(予定) ○新規技術分科会 第1回 2014.11.14 第2回 2014.12.22 第3回 2015.3.24(予定)	○技術実証検討会 第1回 2014.7.14 第2回 2015.3.20 予定 ○技術実証検討会分科会 第1回 2014.9.9 第2回 2014.12.5 第3回 2015.2.13 予定	○技術実証事前検討会 年 4 回の開催を計画し、第3回ま で開催済。 ・第 1 回:2014 年 7 月 2 日 ・第 2 回:2014 年 10 月 16 日 ・第 3 回:2015 年 1 月 30 日 ・第 4 回:2015 年 3 月 11 日 (予定)

分野 項目	地球温暖化対策技術分野 (照明用エネルギー低減技術)	ヒートアイランド対策技術分野 (建築物外皮による空調負荷 低減等技術)	ヒートアイランド対策技術分野 (地中熱・下水等を利用した ヒートポンプ空調システム)	VOC 等簡易測定技術分野
技術分野独自のPR等 の実施予定	<p>○2014.6.11～13 「建築材料・住宅設備総合展 K ENTEN2014」へ出展 会場:インテックス大阪 建材試験センターとして出展し、ブース内でパネル展示とリーフレットの配布を行い担当分野の紹介を行った。</p> <p>○2014.7.28～8.2 ・(一社)日本照明学会、(一社)日本建築学会、(一財)日本建設情報総合センター、(一社)日本建設業連合会、建築研究開発コンソーシアムのWebにセミナーの情報を掲載いただく。</p> <p>・住宅情報提供協議会、木を活かす建築推進協議会、建築環境・省エネルギー機構、(一社)住宅生産団体連合、(一社)日本住宅設備産業協会のメールニュースにセミナーの情報を掲載いただく。</p> <p>○2014.8.25 ・ETV 事業セミナー「省エネルギー照明技術の研究・実証動向」開催(80名申し込み、61名参加)</p>	<p>「建築材料・住宅設備総合展 K ENTEN2014」へ出展 会期:2014年6月11日〔水〕～13日〔金〕 会場:インテックス大阪 建材試験センターとして出展し、ブース内でパネル展示とリーフレットの配布を行い担当分野の紹介を実施した。</p>	<p>展示会9回出展済(主要なものを記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2014.5.27～30 NEW 環境展&地球温暖化防止展 ・2014.6.7～8 エコライフフェア 2014 ・2014.6.18～20 スマートコミュニティ Japan ・2014.7.30～8.1 再生可能エネルギー世界展示会 ・2014.10.21～22 不動産ソリューションフェア ・2013.12.11～13 エコプロダクツ 2014 ・2015.1.28～30 ENEX2015 ・地中熱シンポジウム2回 ・地中熱講座4回 ・「地中熱施工管理技術者資格制度」を協会の独自事業として今年度創設。1月に資格試験を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・JASIS2014(2014年9月3日～5日:幕張メッセ)に日本環境技術協会として出展し、ETV事業のPRを実施。 ・アジア環境化学国際会議(2014年11月24日～26日:タイ)に日本環境技術協会として出展し、ETV事業のPRを実施。 ・大気環境学会(2014年9月17日～19日:愛媛大学)にてPRを実施。
特記事項		<p>本年度は新規技術分科会を立ち上げ、次年度以降の促進試験方法の導入や再帰反射技術実証方法の検討を行っている。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・7カ国語でのパンフレットを作成しているが、今年度はタイで開催された国際会議に出展したため、タイ語等のパンフレットを配布し、海外へのPRが実施できた。

表 平成 26 年度各実証技術分野の進捗状況(2)

分野 項目	有機性排水処理技術 分野	湖沼等水質浄化技術 分野	閉鎖性海域における 水環境改善技術分野	自然地域トイレし尿 処理技術分野	中小水力発電技術 分野
平成 26 年度 の実証予定	<p>件数:2件</p> <p>概要: <ul style="list-style-type: none"> ・11月28日まで公募 ・次の2技術を採用(厨房で発生した揚げかすから油分を分離し排水への混入を防止、再利用する技術。酵素水を使用した油分が多い排水の処理技術。) ・上記の他4社の申請があったが不足事項があり再検討を促す。 ・申請に至らないが、4社より問い合わせがあり申請を検討中。 </p>	<p>件数:2件</p> <p>概要: <ul style="list-style-type: none"> ・7月31日まで公募 ・次の2技術を採用したが、試験終了は来年度中(特殊攪拌体で溶存酸素を効率的に供給する技術。オゾン等を使用した促進酸化処理による有機物分解処理技術) ・問合せが8件あり、申請に不足事項があり追加試験の実施など再検証を促す。 </p>	<p>件数:2件</p> <p>概要: <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年4月28日(月)から平成26年5月16日(金)に公募した。 ・日新製鋼株式会社より、「製鋼スラグ製品による藻類成長促進技術」及び宇部マテリアルズ株式会社より、「酸化マグネシウムによる底質改善技術」が申請され、書類審査及び第1回検討会において、平成26年度実証対象技術として選定済みである。 </p>	<p>件数:1件</p> <p>概要: <ul style="list-style-type: none"> ○平成26年9月より、(株)ビオ・ミクトの実証試験を開始。2月末に試験が完了する予定。その後、試験分析結果をとりまとめ、実証試験結果報告書を作成する方針。 </p>	<p>件数:6件応募、3件採択</p> <p>概要: <ul style="list-style-type: none"> 平成26年8月18日から9月5日まで、実証対象となる技術の募集を行い、6件の応募があった。開発中の技術の申請が間に合わなかったので来年度に回すこととし、今年度は3件採択した。 </p>
技術実証検討 会等の開催状 況	<p>○技術実証検討会 第1回 2014.8.22 第2回 2015.3.4 予定 ○技術実証分科会 第1回 2014.8.29 第2回 2014.11.28※ 第3回 2015.1.28※ (※現地視察含む)</p>	<p>○技術実証検討会 第1回 2014.8.22 第2回 2014.12.17※ 第3回 2015.2.25 予定 (※現地視察含む)</p>	<p>○技術実証検討会 第1回 2014.6.23 第2回 2014.8.4 第3回 2014.9.23、24 第4回 2015.1.15、16 第5回 2015.3月上旬 (予定)</p>	<p>○技術実証検討会 第1回 2014.7.7 第2回 2014.8.6 第3回 2014.11.13 第4回 2015.3(予定)</p>	<p>○技術実証検討会 第1回 2014.7.25 第2回 2014.8.8 第3回 2014.10.3 第4回 2014.12.9 第5回 2015.1.30 第6回 2015.3.9(予定)</p>

分野 項目	有機性排水処理技術 分野	湖沼等水質浄化技術 分野	閉鎖性海域における 水環境改善技術分野	自然地域トイレし尿 処理技術分野	中小水力発電技術 分野
技術分野独自のPR等の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・環境展やエコプロダクツ2014、学会などへ有用な技術の発掘に出向いている。 ・独自の技術募集パンフレットを作成し関係機関に配布した。 ・実証機関主催の環境セミナーで展示(9/5) ・日本水環境学会のシンポジウムに発表及び参加(9/8) ・全国浄化槽技術研究集会にてETV技術導入での改善事例を発表(9/17) 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境展やエコプロダクツ2014、学会などへ有用な技術の発掘に出向いている。 ・独自の技術募集パンフレットを作成し関係機関に配布した。 ・環境セミナー(当協会主催)にて展示PR(9/5) ・日本水環境学会のシンポジウムに発表及び参加(9/8) ・湖沼の浄化技術について、自治体に紹介した。 	<p>実証技術の効果の把握や、適切な実証技術の評価をすることを目的に、現地視察を行う。また、実証技術の普及を目的に、現地視察と合わせて、一般市民を交えた勉強会を開催した(2014.9.23(長崎県)、2015.1.15(大阪府))。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年2月19日に「第5回自然地域トイレし尿処理技術セミナー」(場所:日本環境整備教育センター)を開催。 ・セミナーで実証済企業や山小屋のパネル展示説明会および技術相談会を実施。 	<p>平成26年11月に「全国小水力発電サミットin長野」にて、メーカーやユーザーなどへ事業を周知した。</p>
特記事項	<p>ETVへの参加意欲のある技術開発者からの照会が増えている。</p>	<p>ETVへの参加意欲のある技術開発者からの照会が増えている。 さいたま市が環境技術の開発や実証試験を助成するさいたま市環境技術創出支援補助事業を開始(2014.10)</p>	<p>件数:2件</p>	<p>◎次年度実証対象技術への応募を前向きに検討する企業有り。</p>	